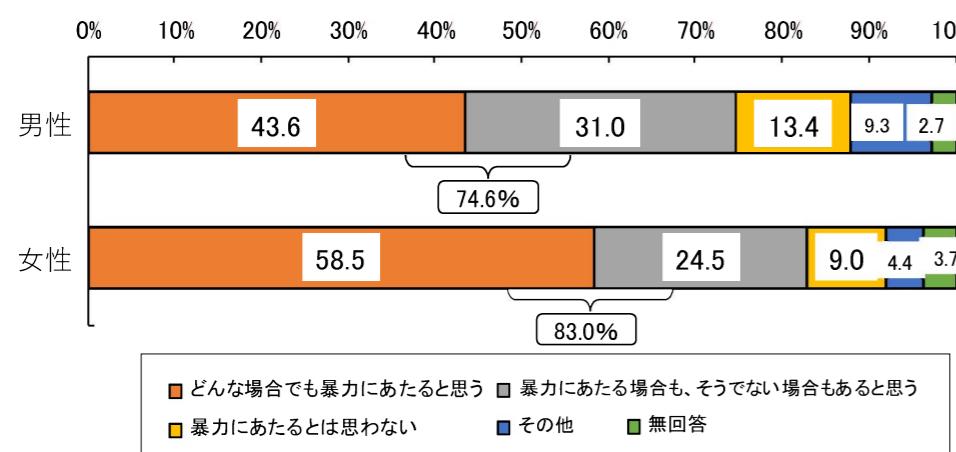


# ＼知つてほしい／ 自分で守る、自分で決める

Q. 「他の異性と会話を許さない」という行為は暴力に当たると思いますか？



DVには、身体的暴力だけでなく、精神的暴力も含まれることへの認知も広がっていますが、男性の認知度が低く、男女差があります。



◆DVは、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であり、決して許されない行為です。お互いを尊重し、対等な関係を築いていくことが大切です。

## ドメスティック・バイオレンス (DV)

配偶者・パートナーからの身体的・性的・精神的・経済的な暴力のこと。単に殴る蹴る等の身体的暴力だけでなく、威嚇、無視、行動の制限など心理的な苦痛を与えることもあります。

### デートDV

デートDVとは、交際中の恋人同士の間で起こる暴力のことです。  
女性の約5人に1人は被害を受けたことがあるという調査結果もあります。



## リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する健康と権利)

リプロダクティブ・ヘルスは、性や出産に関わる全てにおいて、身体的・精神的・社会的に本人の意思が尊重され、自分らしく生きられること。  
リプロダクティブ・ライツは、自分の体に関する事を自分自身で決められる権利のこと。

信頼できる情報にアクセスしよう！

性や生殖に関する正しい知識は、性暴力やデートDVなどの被害の防止や、妊娠・出産を含め、生涯にわたる健康につながります。



・DV相談窓口一覧  
県ホームページ  
ひとりで抱えずに相談してください。



・あざれあナビ  
県内の男女共同参画の  
情報発信をしています。

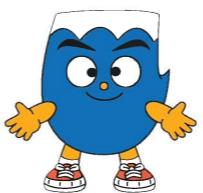


・男女共同参画白書  
県内の男女共同参画に  
関するデータをまとめ  
て紹介しています。



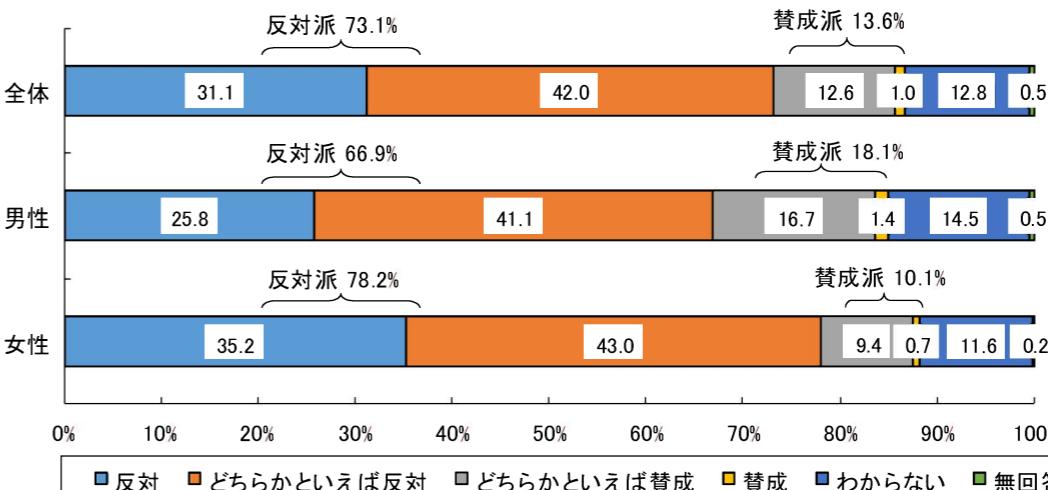
# ＼データから見る／

## 静岡県の男女共同参画



「男女共同参画」とは、性別に関係なく、職場、学校、家庭、地域など社会のあらゆる分野で個性と能力を十分に發揮し、共に責任を担うことです。  
静岡県の男女共同参画に関する意識や実態について、統計データから見てみましょう。

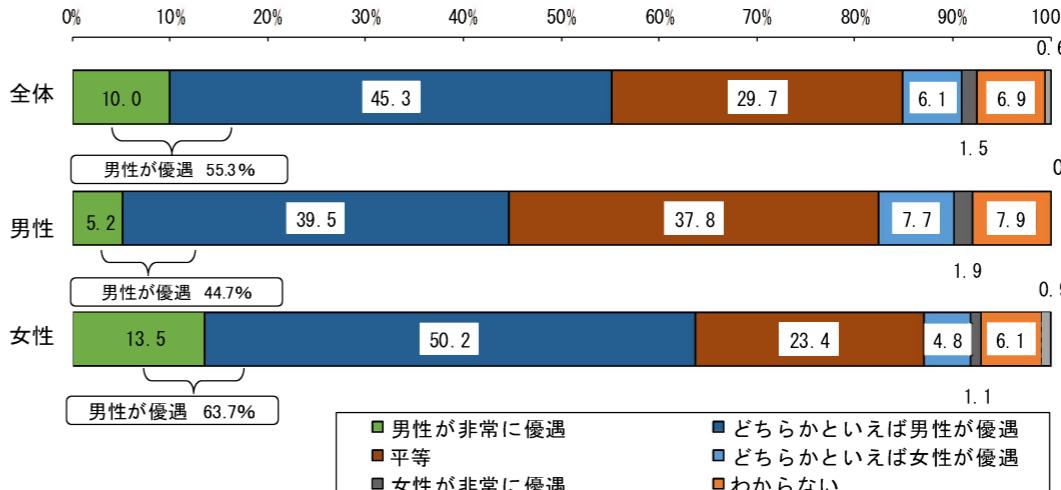
Q. 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」というような男女の役割を固定的に考えることについて、どのように思いますか？



固定的な性別役割分担意識にとらわれない人の割合は73.1%で、男性の方が低くなっていますが、男女とも年々増加しています。



Q. 「家庭生活」において男女が平等だと思いますか？



家庭生活において「男性が優遇されている」と感じている人の割合は55.3%で、男性よりも女性の方が割合が高いです。

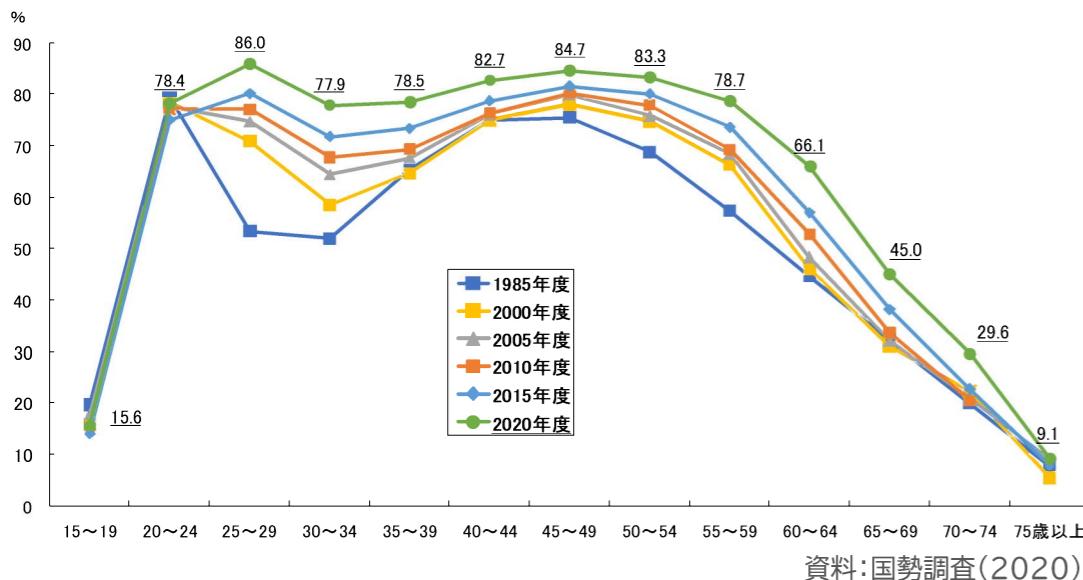


## ジェンダー

社会的・文化的に形成された性のこと。  
社会通念や慣習の中にある、社会によって作り上げられた男女の性差のこと。  
(ジェンダーの例)  
・性別役割分担/Gender Role…社会的に期待される男性と女性の役割分担のこと  
・性表現/Gender Expression…服装、言葉遣いや立ち振る舞いなどにおいて表現される男らしさ・女らしさのこと

# ジェンダー平等の推進による誰もが幸せを実感できる社会の実現に向けて

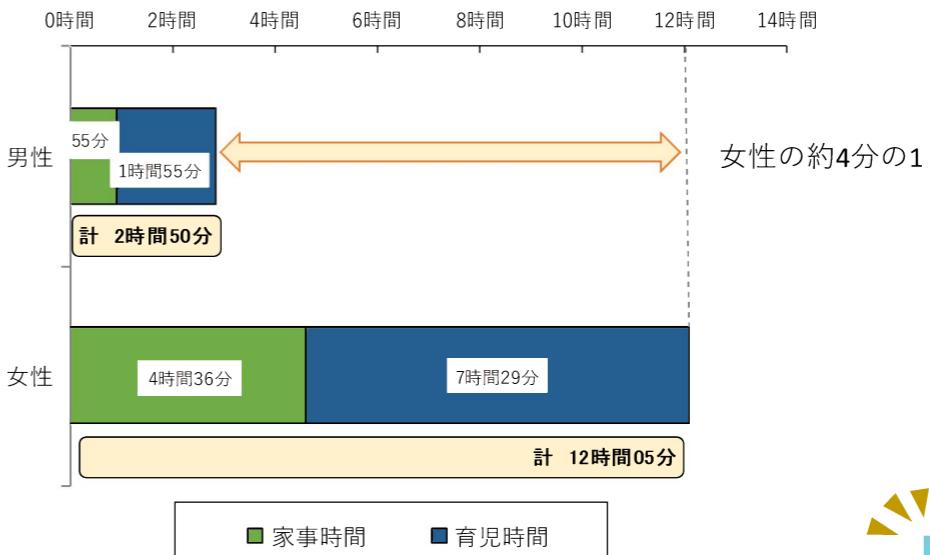
## 女性の年齢階級別労働力の推移



女性の労働率は、子育て期の30歳代前半で低下するM字カーブを描いています。近年、仕事を継続する女性が増え、改善傾向にあります。



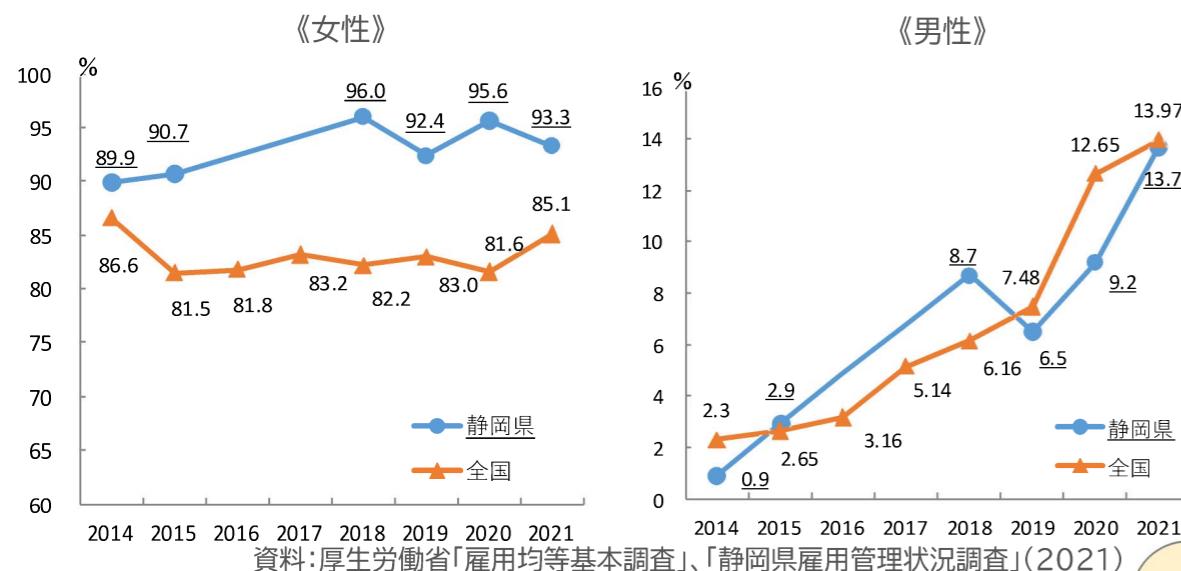
## 男性の家事・育児関連時間



男性の家事・育児時間は、女性の約4分の1です。固定的な性別役割分担意識に反対する人は増えて、行動変容には結びついていないのが現状です。



## 男性の育児休業取得率の推移



◆男性の育児参加の促進は、育児に参加したい男性のワーク・ライフ・バランスの実現だけでなく、配偶者の女性の就業継続への影響という点でも重要です。

男性の育休取得を促進  
2022年10月スタート

### 産後パパ育休（出生時育児休業）

- 子の出生後8週間以内に4週間まで、2回に分割して育休を取得することが可能。
- 産後パパ育休中に一度就業することも可能。
- 1歳までの育児休業も、2回に分割して取得できるようになりました。

男性の育休取得率は、年々増加傾向にありますが、依然として女性の取得率とは大きな差があります。



## 家事シェアリング

「家族みんなの仕事である家事を共有する」という「シェアマインド」で家事をシェアリングしてみませんか？



## アンコンシャス・バイアス

自分自身では気づいていない「ものの見方やとらえ方のゆがみや偏り」のこと。  
自分自身では意識しづらく、ゆがみや偏りがあることは認識していないため「無意識の偏見」と呼ばれます。

## ～性別役割意識に関する調査結果～

性別役割について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

男性 上位5項目		%	女性 上位5項目		%
1	男性は仕事をして家計を支えるべきだ	48.7	1	男性は仕事をして家計を支えるべきだ	44.9
2	女性には女性らしい特徴があるものだ	45.7	2	女性には女性らしい特徴があるものだ	43.1
3	女性は感情的になりやすい	35.3	3	女性は感情的になりやすい	37.0
4	デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	34.0	4	育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	33.2
5	女性はか弱い存在なので、守らなければならない	33.8	5	女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い	27.2

資料：内閣府「性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査」2022

◆性別に対して持っているアンコンシャス・バイアスに気付き、性別や属性にとらわれることなく、全ての人が能力、個性を十分発揮することができる社会を目指していきましょう。

